



# NPOフォーラム・だより

8

2006.5.15

NPO法人 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム  
〒294-0047 千葉県館山市八幡 822 TEL&FAX:0470-22-8271  
npo@internet-ex.com http://www.internet-ex.com/npo/index.html

## NPO: 年次事業報告会

5月20日(日) たてやま夕日海岸ホテルにて

14:00~15:00 年次事業報告会

<17年度の事業報告、18年度の事業計画およびNPOの目ざす方向について>

15:00~16:00 ガイドマナー講座~お客様を迎える心得

講師: 山口 孝氏(館山市在住/館山市西口体験交流センター職員/まちづくりコーディネーター)

瀬川文子氏(千倉在住/親業コミュニケーション・インストラクター/元日本航空乗務員)

皆さんの出席を  
お待ちしております。

## 戦跡サークルのお知らせ

5月21日(日)10:00~12:00 館山地区公民館にて座学

講師:利渉義宣氏 テーマ「館山における近代漁業のあゆみ(仮題)」

5月25日(木)10:00~16:00 フィールドワーク

講師:小沢義宣氏 <藤原の塹壕・館山海軍砲術学校・平砂浦エリア>

参加費:500円(ファミリーパーク昼食代) マイクロバス利用のため先着24名まで

## 里見ガイド講習会修了者(里見ガイドサークル)のモニターツアー

館山市中央公民館との共催により実施した全15回の講習会が修了しました。館山市立博物館の岡田晃司学芸員を講師に迎え、現地見学と座学を組み合わせながら、フィクションである『南総里見八犬伝』と、実在した戦国武将・里見氏の史実を区別しました。修了者はガイドの実践訓練を兼ねて、市民向けのモニターツアーを企画しました。4つのグループごとにテーマを決め、ゆかりの地をめぐる。各コースの参加定員は15名で先着順。

申し込みは、館山市中央公民館(0470-23-3111)まで。各自弁当持参、参加費200円(保険料・資料代)。

6月1日(木)9:30~15:30 = 愛沢彰子・石崎和夫・池上藤夫・川崎一・杉田克枝・平野武夫 =

テーマ「八犬伝のロマンと里見氏の歴史を訪ねて」 ~ 館山城-滝田城-犬掛-福満寺-伏姫籠穴 ~

6月14日(水)10:00~15:15 = 小形博子・神作三枝子・鈴木宏・鈴木よし江・山本公之・湯川敬之 =

テーマ「八犬伝にひたってみよう!」 ~ 養老寺-滝田城-犬掛-伏姫籠穴 ~

6月16日(金)10:00~14:30 = 金久修・田中夏積・鈴木恵弘・鈴木以久枝・中沼良二 =

テーマ「里見家の女性たち-ゆかりの寺を訪ねて-」 ~ 興禅寺-泉慶院-福生寺-源慶院-高田寺 ~

6月22日(木)9:30~14:00 = 蓮沼美栄・金久ひろみ・酒井康好・島田輝弥・山杉博子 =

テーマ「白浜からはじまる房総里見氏の足跡を訪ねて」 ~ 杖珠院-青根原神社-白浜城-野島崎 ~

**赤山地下壕 無料ガイド ... 毎月第1日曜日 10~13時 (豊津ホールにて待機)**

ガイド仲間との出会いの場。次回は**6月4日**です。ふるってご参加ください。

**NPO連絡懇談会 ... 毎月第1火曜日 18時より 夕日海岸ホテルにて**

NPOの情報伝達や会員相互の意見交換、交流の場。次回は**6月6日**です。

通信費1,000円の未納会員は、以下の口座に入金のお手続きをお願いいたします。

振込みの確認によって、会員の更新とさせていただきますので、ご了解ください。

<郵便振替 00100-0-334130 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム>

## *[Report]* 千倉の先祖の足跡をたずねて、アメリカへ

明治期に渡米したアワビ漁師たちの足跡を訪ねて、4月16日(日)に南房総市千倉町の潮風王国で地元研究者たちによる講演と、千田地区のウォーキングを開催しました。小雨のなか約50名が参加。ゆかりの長性寺では墓前にお焼香をし、檀家の皆さんによるお汁粉をご馳走になり、郷土の先人たちを顕彰して偲びました。

4月27日~5月5日、アメリカゆかりの地を訪ねる旅が企画され、NPOフォーラムからは地元で精力的に調査研究を重ねている鈴木政和さん、林久子さんらとともに、通訳の高橋正和さん、「青い目の人形」の語り部である松苗禮子さん、鈴木恵弘さん、三平忠弘さんご家族が渡米しました。今回、とくに鈴木政和さんの尽力によって、日米親善の証であるゆかりの万祝が所有者・栗原石松氏からモンレーのマリタイム博物館に寄贈された。今後、両国の共同研究の進展が大きく期待されています。

## *[Report]* 「八犬伝」紙芝居完成！

南総里見手づくり甲冑愛好会の山口幸夫代表の発案により、同会の伊藤紀太郎さんの脚本、NPOフォーラムの愛沢彰子さんの作画で、『南総里見八犬伝』紙芝居が完成しました。脚本はNPOの小沢道子さんによって、英語翻訳もされており、外国人向けにも利用できるようになっています。

快晴のGW、例年城山の頂上広場では南総手づくり甲冑愛好会による試着会が行なわれており、今回はその場を借りて、紙芝居のお披露目とした。5月4・5日にわたって行なった14回の上演は大好評でした。

NPOの長田敬子さん、杉田克枝さんが保健推進員として所属する館山市保健推進協議会でも、「南総里見海のおやき」というメニューを活かした食育普及事業の一環として、この紙芝居を活用していくことにもなっています。

GWに城山で初披露、子どもたちに大人気。



## *[Report]* ユネスコ：平和の文化を築くセミナー ... 「ピースツーリズム」の提言

元UNESCO平和の文化局長ディビッド・アダムス氏によるセミナーが4月29・30日に開催され、NPOフォーラムからは愛沢彰子さんが参加しました。「人間は暴力的なのか」「暴力の文化と平和の文化とは」「平和の文化の世界的進展」「平和の文化と“持続可能な開発のための教育”をすすめるには」という4つのテーマについてセッションが行なわれ、現状の報告と展望の構想が発表されました。

アダムス氏は、各国の科学者によってまとめられた暴力についてのセビリヤ声明(1986年)の立役者であり、この声明の中では、「人間が生来暴力的である」という見解に対する科学的知識に基づいた否定と、平和の文化の構築が謳われています。そして平和の文化のための人や物・資金源を生み出す有力な手段となるのが、「ピースツーリズム」であるとアダムス氏は述べています。世界的に見ても観光は有力な産業であり、平和の文化を学び担うための積極的な手段として期待が高まっています。

## *Report]* 旅のもてなしプロデューサー養成講座 (まちづくりコーディネーター養成講座)

5月13・14日、松戸市の聖徳大学生涯学習研究センターで開かれ、当NPOフォーラムの池田恵美子事務局長が講師として参加しました。まちづくりに意欲的な行政マン・議員・教員・商店主・サラーマン・主婦・学生など58名が全国から集まり、中には町長自ら参加した方もいました。いま、観光業界に求められていることは、地財を活かした地域再生と密着した交流観光であるという話もありましたが、私たちの行なっているまちづくりの取り組みは、全国でも先駆的なモデルケースとして承認されています。

「まちづくりコーディネーター」はNPO法人全国生涯学習まちづくり協会(まちづくりコーディネーター認定委員会:海部俊樹委員長)の認定資格ですが、今回初の取り組みとなった「旅のもてなしプロデューサー」は旅行の企画や演出を旅行業者から委嘱されるなど雇用の機会拡大を目ざし、(財)日本余暇文化振興会の認定資格となる予定です。地域づくりの主役となるキーワード「創年」については、次回ご紹介します。どうぞ期待！